



# kintone Webhook 連動出力

V1.04

## kintone Webhook 連動出力の設定

The screenshot shows the 'kintone Webhook 連動出力' (kintone Webhook联动输出) configuration page. The page is divided into sections for enabling the function, setting output destinations, and defining output conditions. Red boxes and arrows highlight key elements, with numbered callouts providing instructions:

- Callout 1:** 「Webhookイベント発生時にPDFを出力する先の添付ファイルフィールドを選択してください。」 (When a Webhook event occurs, please select the attachment file field to which PDF will be output.) - Points to the '添付ファイル [添付ファイル]' dropdown menu.
- Callout 2:** 「必要に応じて出力の条件を設定してください。」 (Please set output conditions as needed.) - Points to the '出力の条件を設定' (Set output conditions) section.
- Callout 3:** 「Webhook用パスをコピー」をクリックしてください。 (Click 'Copy Webhook path'). - Points to the 'Webhook用パスをコピー' button.
- Callout 4:** 設定変更後は保存を忘れずに (Don't forget to save after changing settings). - Points to the '変更を保存' (Save changes) button.

The configuration page includes the following visible elements:

- Header: k-Report logo, navigation menu (一覧, 帳票新規登録).
- Options:  フィールドの値を指定する (2個目),  フィールドの値を指定する (3個目).
- Section: **kintone Webhook 連動出力** (with link to settings method).
- Toggle:  kintone Webhook 連動出力機能を有効にする.
- Text: ※過度なPDF出力を防止するため、同一アプリ、同一レコードでのWebhookによるPDF生成は60秒に1回までに制限.
- Text: Webhook用パスをコピー (with URL: www.k-report.work/).
- Text: 出力先の添付フィールドを選択してください.
- Dropdown: 添付ファイル [添付ファイル].
- Section: 出力の条件を設定.
- Text: もし [ ] 選択してください が [ \* ] の条件に合う時.
- Text: ※条件が \* または空白の時は常時出力されます。またコメント書き込み時のWebhook時には判定処理は行われません。
- Section: トヨクモ社 : FormBridge連携 (60分間だけ有効な出力ボタンになります) (with link to settings method).
- Toggle:  FormBridge連携機能を有効にする.
- Section: トヨクモ社 : kViewer連携 (データ表示後、20分間だけ有効な出力ボタンになります) (with link to settings method).
- Footer: 戻る, 変更を保存, 帳票デザイナーを起動, PDFプレビュー, この帳票のkintoneアプリを開く.

kintone Webhook 連動出力 [kintone Webhook 連動出力の設定方法](#)

kintone Webhook 連動出力機能を有効にする

※過度なPDF出力を防止するため、同一アプリ、同一レコードでのWebhookによるPDF生成は60秒に1回までに制限されています。

Webhook用パスをコピー `www.k-report.work/_prd/api_ex/v1/kw/?r=UbekBv%2FWb35nmxdfSTHDvDhH`

出力先の添付フィールドを選択してください

添付ファイル [添付ファイル]

出力の条件を設定

もし  が  条件に合う時

※条件が\*または空白の時は常時出力されます。またコメント書き込み時のWebhook時はコメントが空の場合にのみ出力されます。

ここで設定出来る判定式の種類になります

条件式例	判定内容
田中	指定フィールドに“田中”が含まれていれば
!!田中	指定フィールドに“田中”が含まれていなければ
=田中	指定フィールドが“田中”であれば
!=田中	指定フィールドが“田中”でなければ
=	指定フィールドが空であれば
!=	指定フィールドが空でなければ
>100	指定フィールド(数値)が100より上であれば
>=100	指定フィールド(数値)が100以上であれば
<100	指定フィールド(数値)が100未満であれば
<=100	指定フィールド(数値)が100以下であれば

# kintone Webhook 連動出力の設定

The screenshot shows the Kintone Webhook configuration interface. The breadcrumb trail is: ポータル > スペース: デモ用 (開発環境) > アプリ: 伝票 > アプリの設定 > Webhook. The page title is "Webhook" with a help link. A description explains that Webhooks allow sending data to external services. A "+ 追加する" button is highlighted in a red box. The "Webhookの追加" section contains a "説明" field with "k-Reportで請求書を出力する", a "Webhook URL \*" field with "https://www.k-report.work/\_", and a "通知を送信する条件" section with five checked checkboxes: "レコードの追加", "レコードの編集", "レコードの削除", "コメントの書き込み", and "ステータスの更新". The "有効化" section has a checked checkbox "このWebhookを有効にする". At the bottom, there are buttons for "Webhookの一覧に戻る", "キャンセル", and "保存". The "保存" button is highlighted in a red box.

- ① 該当のアプリでWebhookイベントを追加
- ② 任意のイベント名を入力
- ③ 先ほどコピーしたWebhookのパスを貼り付け
- ④ PDF生成の対象となるイベントを選択  
※k-Reportは「レコードの削除」イベントには対応していません。イベント種類にチェックしても動作しませんのでご了承くださいませ。
- ⑤ 保存ボタンをクリック

Webhookの設定が保存されました。  
変更を反映するには、[アプリの設定](#)に戻り、[アプリを更新]ボタンをクリックしてください。

ポータル > スペース: デモ用 (開発環境) > アプリ: 伝票 > アプリの設定 > Webhook

## Webhook [?ヘルプ](#)

Webhookの設定を行うと、kintoneのアプリで特定の操作が行われた際に、その内容を指定した外部サービスに送信することが可能です。  
この仕組みを応用すると、レコードが追加されたときにその内容をチャットサービスに投稿する、といった連携を、プログラムを書くことなく設定することが可能です。

+ 追加する

Webhook URL	説明		
https://www.k-report.work/_ [Redacted]	k-Reportで請求書を出力する	ログを確認	

①該当kintoneアプリを更新して頂けましたら、設定が反映されます。